

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

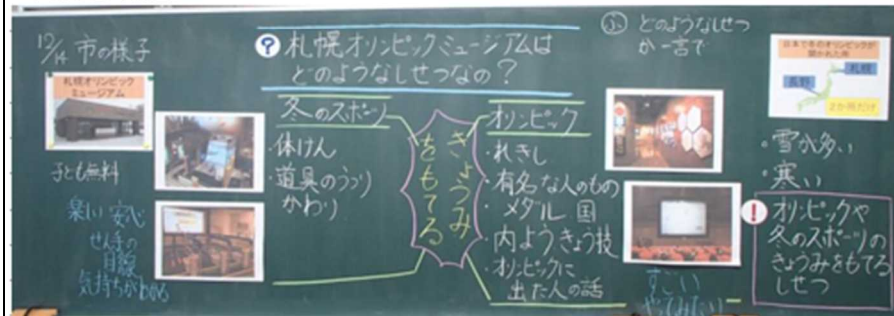
道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立信濃小学校 3年生 102名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 社会、総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	札幌市の公共施設の一つである「札幌オリンピックミュージアム」を見学し、その働きについて理解するとともに、冬のスポーツについて興味・関心を高める。
5 取組内容	社会科の「市の様子」の単元の公共施設の働きと関連付け、「札幌オリンピックミュージアムはどのような施設なのかな？」という課題をもち、見学に行く。札幌オリンピックミュージアムでは、オリンピックの話を聞いたり、体験コーナーで冬のスポーツを疑似体験したり、施設の解説を聞いたりする。その後、課題について調べたこと、感じたことをまとめる。 ○指導計画 [7時間扱い] [社会]4時間 ・「市の様子」の公共施設の働きについて学ぶために、札幌オリンピックミュージアムに行き、オリンピックのすごさや冬のスポーツの楽しさを伝える施設だということを理解させる。 「総合的な学習の時間」3時間 ・スキーやスケートなどに冬のスポーツのルールや歴史、魅力などについて調べ、みんなに紹介する。

事前学習の板書。



事後学習の板書。



見学の様子。



6 主な成果

- ・3年生なので話を聞くだけではなく、スキージャンプやクロスカントリーなど、実際に疑似体験して学べるコーナーがあったので、施設を利用することで、楽しみながら学習することができた。冬のスポーツに、興味・関心をもつことができた。
- ・札幌オリンピックミュージアムに見学に行くことで、どのような施設なのかを具体的に理解することができたので、まとめる際にも子どもたちの実感を伴った意見がたくさん出てきた。
- ・オリンピックに出た人による努力の大切さや諦めない心などの道徳的な話は、実感が伴っており、子どもたちも真剣に話を聞いていた。
- ・冬のスポーツについてもルールが書いてあったり道具が置いてあったりして、調べやすかった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	• 社会の「市の様子」と関連付けるならば、1学期の単元なので、1学期中に行けるようになるとよりよい。 • 人数が多く時間も短かったので、全員が体験コーナーを十分に取り組むことができなかった。 • 事前にオリンピックミュージアムの方に学習内容を伝えて、プログラムを調整できると、子どもがよりスムーズに学習につながれると感じた。 • 解説などは、文章表記や漢字などが3年生には少し難しかった。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。